



第63期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

ダイソーケミックス株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、当社は、創業70周年を迎えることとなりました。これも皆様方のあたたかいご支援によるものと存じます。厚くお礼申し上げます。

さて、当社第63期中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の決算を終了いたしましたので、事業の概況などにつきまして、ここにご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

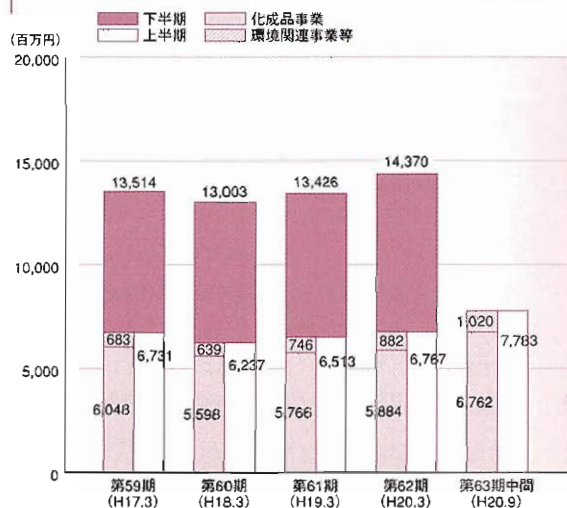


代表取締役

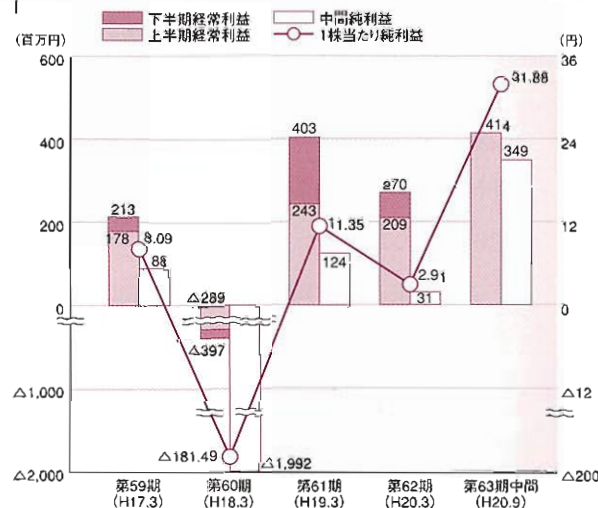
村瀬千弘

業績の推移（連結）

売上高



経常利益・中間純利益・1株当たり中間純利益



総資産・純資産・自己資本比率



研究開発費・研究開発人員



事業の概況

当中間期におけるわが国経済は、原油価格の乱高下、原料価格の高騰、サブプライムローン問題に伴う金融市場の混乱による米国経済の減速等により、景気減速傾向が鮮明となってまいりました。

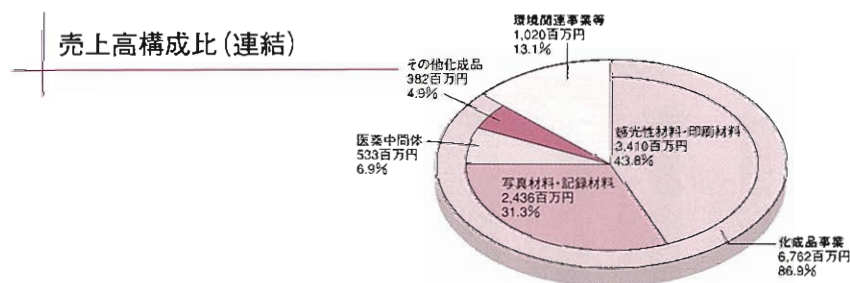
このような状況の中で当社グループは、営業活動に全力をあげるとともに、次世代対応の感光性材料の開発をはじめ、写真材料、医薬中間体の新製品開発および環境関連事業に積極的に取り組みました。

この結果、当中間期の連結売上高は、化成品事業の感光性材料、写真材料および医薬中間体が増加したことにより、前年同期比15.0%増の77億83百万円となりました。

原油高による基礎原料の値上がり等の影響はありましたが、経費の削減など売上原価低減に鋭意取り組みました結果、経常利益は4億14百万円（前年同期比98.1%増）となりました。

中間純利益は、3億49百万円（前年同期31百万円の純利益）となりました。

当社単独では、当中間期の売上高は前年同期比15.0%増の65億32百万円、経常利益は4億10百万円（前年同期比79.1%増）、中間純利益は4億22百万円（前年同期比51.9%増）となりました。



事業別セグメント

【化成品事業】

当事業の売上高は、前年同期比14.9%増の67億62百万円となりました。

1. 感光性材料及び印刷材料

半導体用感光性材料は、半導体市場が堅調に推移したことにより、g線用・i線用およびエキシマ用材料が増加したことから、販売数量、売上がともに増加いたしました。

液晶用感光性材料は、液晶パネル生産が好調であったことから、販売数量、売上がともに増加いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比15.6%増の34億10百万円となりました。

2. 写真材料及び記録材料

写真材料は、銀塩写真用材料が減少しましたが、レントゲン用材料、イメージング材料の販売数量、売上が増加いたしました。

記録材料は、販売数量、売上がともに増加いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比16.1%増の24億36百万円となりました。

3. 医薬中間体

医薬中間体は、主力製品が回復したことにより、販売数量、売上がともに増加しました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比30.0%増の5億33百万円となりました。

4. その他化成品

架橋剤は、繊維改質材の販売数量、売上がともに減少いたしました。

この結果、当品目の売上高は、前年同期比10.4%減の3億82百万円となりました。

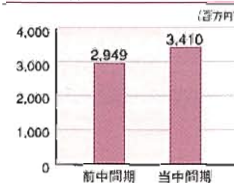
【環境関連事業】

当事業の売上高は、前年同期比15.5%増の10億19百万円となりました。

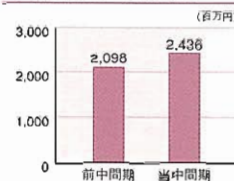
産業廃棄物の処理および化学品のリサイクルを中心とする環境関連事業では、産業廃棄物処理分野および化学品リサイクル分野での積極的な営業活動により新規受託品の拡大に努めた結果、売上は大幅に増加いたしました。

なお、産業廃棄物の処理能力増強を目的に、大阪府岸和田市に新工場を建設し、平成22年度内に操業を開始すべく、現在種々の作業を進めております。

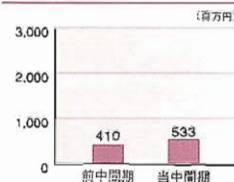
感光性材料及び印刷材料



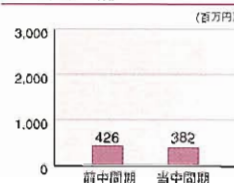
写真材料及び記録材料



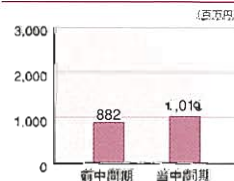
医薬中間体



その他化成品



環境関連事業



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(前連結会計年度比較)

(単位：百万円)

POINT - 1

現金および預金

静岡工場設備のリースバックにより増加いたしました。

POINT - 2

有形固定資産

減価償却額が投資額を上回ったため減少いたしました。

POINT - 3

投資その他の資産

株式市場の悪化により投資有価証券の評価が下がったため減少いたしました。

科 目	期 別		
	前 中 間 期 平成19年9月30日現在	当 中 間 期 平成20年9月30日現在	前 期 平成20年3月31日現在
(資 産 の 部)	19,824	19,928	19,771
流 動 資 産	10,030	10,696	10,302
1 現 金 お よ び 預 金	2,174	2,739	1,660
受取手形および売掛金	3,007	3,240	3,056
有 価 証 券	797	600	1,299
た な 卸 資 産	3,285	3,426	3,340
そ の 他	769	689	948
貸 倒 引 当 金	△ 2	—	△ 3
固 定 資 産	9,793	9,231	9,468
2 有 形 固 定 資 産	7,791	7,767	7,887
建 物 お よ び 構 築 物	1,996	1,878	1,961
機 械 装 置 お よ び 運 搬 具	1,905	1,763	1,992
土 地	3,283	3,303	3,303
そ の 他	606	822	630
無 形 固 定 資 産	8	6	7
3 投 資 そ の 他 の 資 産	1,993	1,457	1,573
資 産 合 計	19,824	19,928	19,771

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

(前連結会計年度比較)

科 目 \ 期 別	前 中 間 期 平成19年9月30日現在	当 中 間 期 平成20年9月30日現在	前 期 平成20年3月31日現在
(負 債 の 部)	6,581	6,760	6,806
流 動 負 債	2,614	3,131	3,031
支払手形および買掛金	982	863	894
短 期 借 入 金	560	460	560
貸 与 引 当 金	306	385	359
そ の 他	766	1,422	1,217
固 定 負 債	3,966	3,629	3,774
社 債	1,866	1,810	1,838
長 期 借 入 金	1,640	1,580	1,660
そ の 他	460	239	276
(純 資 産 の 部)	13,243	13,167	12,964
株 主 資 本	12,710	13,089	12,773
資 本 金	2,901	2,901	2,901
資 本 剰 余 金	4,421	4,421	4,421
利 益 剰 余 金	6,052	6,433	6,116
自 己 株 式	△ 663	△ 666	△ 665
評 価 ・ 換 算 差 額 等	493	77	154
少 数 株 主 持 分	39	—	35
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,824	19,928	19,771

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT - 4・6

短期借入金・長期借入金

借入金の返済のため減少いたしました。

POINT - 5

その他

静岡工場設備のリースバックによりリース債務が増加いたしました。

中間連結損益計算書

(前連結中間期比較)

(単位：百万円)

POINT - 1

売上高

化成品事業および環境関連事業ともに増加いたしました。

POINT - 2

売上原価

原料価格の高騰の影響はありましたが、経費の削減などにより売上原価率が低下いたしました。

POINT - 3

特別損失

前中間期は、たな卸資産評価に低価法を早期適用いたしました。

科 目	期 別		
	前 中 間 期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	当 中 間 期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
1 売 上 高	6,767	7,783	14,370
2 売 上 原 価	5,721	6,465	12,287
売 上 総 利 益	1,046	1,317	2,082
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	769	856	1,587
営 業 利 益	277	461	494
営 業 外 収 益	39	56	80
営 業 外 費 用	107	102	304
経 常 利 益	209	414	270
特 別 利 益	—	—	109
3 特 別 損 失	221	1	256
税金等調整前中間(当期)純利益(△純損失)	△ 12	413	123
法 人 税 等	△ 45	65	△ 5
少 数 株 主 利 益	1	△ 1	△ 0
中 間 (当 期) 純 利 益	31	349	129

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別 前 中 間 期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	当 中 間 期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	533	607	953	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,931	△ 287	△ 2,312	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	91	251	49	
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	7	△ 3	
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,298	579	△ 1,312	
現金及び現金同等物の期首残高	3,573	2,260	3,573	
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,274	2,839	2,260	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(前連結中間期比較)

POINT - 1

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益の増加に伴い増加いたしました。

POINT - 2

投資活動によるキャッシュ・フロー

前中間期は、環境関連事業に係る新工場建設用地を取得いたしました。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	2,901	4,421	6,116	△ 665	12,773	91	△ 60	123	154	35	12,964
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 32		△ 32						△ 32
中間純利益			349		349						349
自己株式の取得				△ 1	△ 1						△ 1
自己株式の処分											
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)						△ 69	20	△ 28	△ 76	△ 35	△ 112
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	316	△ 1	315	△ 69	20	△ 28	△ 76	△ 35	202
平成20年9月30日残高	2,901	4,421	6,433	△ 666	13,089	22	△ 39	95	77	—	13,167

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前 中 間 期 平成19年9月30日現在	当 中 間 期 平成20年9月30日現在	前 期 平成20年3月31日現在
(資産の部)	18,742	18,884	18,605
流動資産	9,136	9,875	9,473
現金及び預金	1,861	2,506	1,322
売掛金	2,592	2,761	2,574
有価証券	797	600	1,299
たな卸資産	3,097	3,133	3,081
その他	787	873	1,196
固定資産	9,606	9,009	9,131
有形固定資産	6,190	6,125	6,197
建物	1,505	1,390	1,454
機械及び装置	1,647	1,435	1,602
土地	2,194	2,194	2,194
その他	842	1,104	945
無形固定資産	7	5	6
投資その他の資産	3,407	2,878	2,927
資産合計	18,742	18,884	18,605
(負債の部)	6,192	6,415	6,475
流動負債	2,297	2,866	2,778
買掛金	884	804	825
短期借入金	560	460	560
賞与引当金	230	299	280
その他	622	1,303	1,113
固定負債	3,894	3,548	3,696
社債	1,866	1,810	1,838
長期借入金	1,640	1,580	1,660
その他	388	158	198
(純資産の部)	12,550	12,469	12,129
株主資本	12,195	12,486	12,098
資本金	2,901	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421	4,421
利益剰余金	5,536	5,831	5,441
自己株式	△ 663	△ 666	△ 665
評価・換算差額等	354	△ 17	30
負債・純資産合計	18,742	18,884	18,605

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前 中 間 期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	当 中 間 期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	5,682	6,532	12,029
売上原価	4,945	5,561	10,607
売上総利益	737	971	1,422
販売費及び一般管理費	631	721	1,311
営業利益	105	249	111
営業外収益	197	259	290
営業外費用	73	99	201
経常利益	228	410	200
特別利益	136	—	245
特別損失	189	—	360
税引前中間(当期)純利益	176	410	85
法人税等	△ 101	△ 12	△ 129
中間(当期)純利益	278	422	215

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成20年 9 月30日現在)

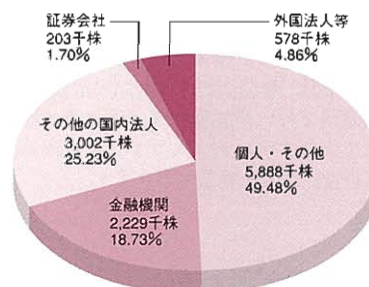
株式総数・株主数

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,900,000株
株主数	864名

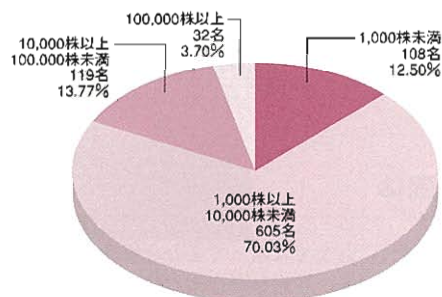
大株主

株主名	所有株式数	出資比率
東京応化工業株式会社	522 千株	4.39 %
日本生命保険相互会社	499	4.20
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	482	4.05
竹中一雄	475	4.00
富士フイルム株式会社	439	3.69
ダイトケミックス社員持株会	429	3.61
株式会社三井住友銀行	371	3.12
住友商事株式会社	336	2.82
農林中央金庫	247	2.08
エスアイエス セガ インターセトル エージ	241	2.03

所有者別株式分布状況



所有株数別株主分布状況



製品紹介

感光性材料及び印刷材料

光を利用した超微細加工をする技術（フォトリソグラフィ）でフォトレジスト（感光性樹脂）が使われております。フォトレジスト上にマスク（設計図）のパターンを光で転写して像をつくり、これを利用して微細加工を行います。このフォトレジストの製造に必要不可欠な材料が当社の感光性材料で、パソコン、携帯電話、薄型テレビなど多くのエレクトロニクス機器に使用される半導体と呼ばれるIC（集積回路）、LSI（大規模集積回路）の製造や、液晶テレビ、パソコン、携帯電話、ゲーム機、カーナビなどのディスプレイ製造、また、新聞、雑誌などの印刷版製造にも使用されております。

半導体製造用では、最先端の感光性材料の開発に取り組んでおり、量産設備も稼働しております。ディスプレイ製造用感光性材料は、今後の需要増に対応するため量産体制を整えております。

写真材料及び記録材料

写真のカラーフィルムやインスタント写真の印画紙には、大きく分けると、黄、赤、青の3原色の感光層が塗布されております。この感光層の一部に当社の製品が使用されております。また、従来の技術から進化した高性能・環境保護へ対応した映画用フィルムやレントゲンフィルムにも、当社の製品が使用されております。

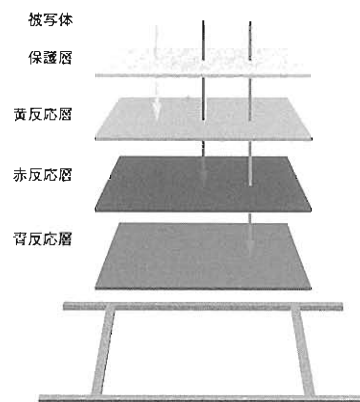
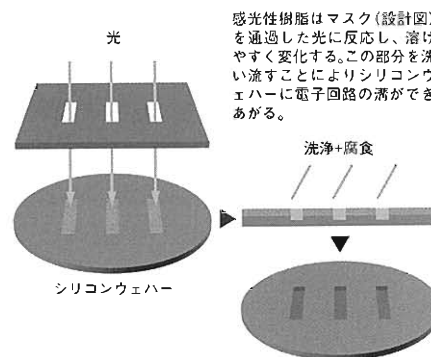
これらの写真材料に続く材料として、フラットパネルディスプレイ用材料など、さまざまな分野でも着実に実績を上げております。

記録材料においては、インクジェット用や昇華型リボン用機能性色材に当社の材料が用いられております。

医薬中間体

医薬分野は、これまでに培ってきた合成技術にキラルなど最新の合成技術を加え、感光性材料、写真材料に次ぐ第3の事業の柱として、積極的に育成しております。

福井工場では、医薬中間体工場と医薬中間体試作工場を稼働させております。現在、国内外の大手有力医薬メーカーとの取引拡大を進めており、強力に事業展開を図っております。



カラーフィルムの感光層は最低3層、実際は高性能化のために補助層を含めて10層以上塗布されている。1層の厚みは、1～2ミクロンである。



トピックス

静岡工場に廃液焼却炉を増設

ダイトケミックス株式会社 静岡工場において2号廃液焼却炉を増設いたしました。現在稼働中の1号廃液焼却炉に比べて1.5倍の焼却能力を有しており、本格運転を11月から開始いたしております。



完成した静岡工場2号廃液焼却炉

会社の概況 (平成20年9月30日現在)

概要

商号 ダイソーケミックス株式会社
(英文名: Daito Chemix Corporation)
本社所在地 〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 9310 (代表)
設立 昭和24年12月2日
資本金 2,901,163,150円
社員数 247名
主な営業品目 感光性材料、写真材料、医薬中間体、
印刷材料、記録材料、その他化成品

役員

〈取締役〉

代表取締役 村瀬千弘
取締役 入岡修一
取締役 二宮榮規
取締役 新木隆雄

〈監査役〉

常勤監査役 山中俊彦
監査役 越智賢三
監査役 桑原豊

〈執行役員〉

社長 村瀬千弘
執行役員 入岡修一
執行役員 二宮榮規
執行役員 新木隆雄
執行役員 佐藤敏夫

事業所

東京オフィス 〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号
電話 03 (3669) 0261
大阪工場 〒574-0044
大阪府大東市諸福八丁目3番11号
電話 06 (6911) 1271
静岡工場 〒437-1424
静岡県掛川市浜野3110
電話 0537 (72) 2888
福井工場 〒910-3137
福井県福井市石橋町31字118
電話 0776 (85) 1841

グループ会社

日本エコロジー株式会社

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 1279
(産業廃棄物の処理および化学品のリサイクル)

ディー・エス・エス株式会社

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 1559
(物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負)

岩手ケミカル株式会社

〒028-1113 岩手県上閉伊郡大槌町須賀町2番2号
電話 0193 (42) 7221
(感光性材料用原料、食品添加物、その他化成品の製造販売)

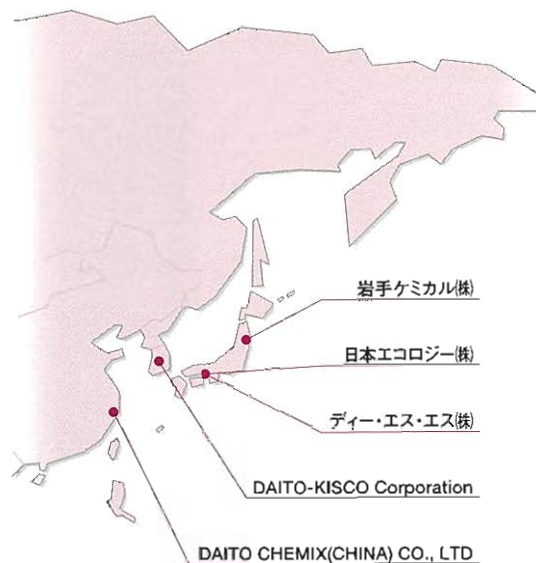
DAITO CHEMIX(CHINA) CO., LTD

〒318020 中国浙江省台州市黄岩区黄岩経済開発区軽化投資区永椒路
電話 +86-576-8416-7115
(感光性材料用原料、その他化成品の製造販売)

DAITO-KISCO Corporation

〒404-220 韓国仁川広域市西区石南洞223-48
電話 +82-32-584-4646
(感光性材料の製造販売)

グループ会社拠点



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417 (フリーダイヤル) (その他のご照会) 0120-176-417 (フリーダイヤル) (インターネットホームページアドレス) http://www.sumitotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
当社インターネットホームページアドレス	http://www.daitochemix.co.jp
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第2部
証券コード	4366

【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の株主名簿管理人の電話照会先をお願いいたします。

【株券電子化前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて】

<買取請求>特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。

<買増請求>平成20年12月12日から平成21年1月4日まで、受付を停止いたします。また、特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。



DAITO CHEMIX